

委員会の検討内容とスケジュール

1. 委員会における検討内容

本委員会においては、貴重な空間を最大限有効活用するため、産学官連携の観点も踏まえ、現地実証を希望する技術開発の課題を広く募集し、それを踏まえ施設の利用方法、利用条件等を検討し、その後、公募を実施し提案課題の審査を行う。

2. 検討スケジュール

(済) ●第1回委員会（1月22日）

- ・公募内容の概要と施設の利用条件について議論。
- ・技術開発の意向募集について議論。

(済) ●意向募集の実施（1月24日）

- ・南鳥島を利用して、技術開発実施の意向を募集。

(本日) ●第2回委員会（3月18日）

- ・民間企業、大学、独立行政法人等の機関から提出のあった技術開発の意向を取りまとめ。
- ・提供設備や利用条件に関する要望について議論。
- ・提案された意向の内容について委員会からコメントするとともに、公募要領（案）を検討。

●公募の実施（4月上旬予定）

●第3回委員会（5月下旬～6月予定）

- ・「南鳥島を活用した海洋関連技術開発の実施計画（暫定版）」を策定。
- ・公募要領と実施計画（暫定版）に基づき、委員会が提案課題の審査を行い、審査結果を通知・公表。

3. 現地実証の予定時期

技術開発の課題が決定した後、現地実証等の時期は、必要となるシステム設計や機器製作等の期間や南鳥島での受入準備等を考慮すると、平成27年度以降となる予定である。